

研究名：OLS 活動におけるクリニカルパス導入による薬剤師の介入効果の検討

1. 研究の対象

2021 年 6 月～2023 年 5 月の間で東北労災病院に入院し、大腿骨頸部骨折または転子部・転子下骨折治療を受けた患者さん。

2. 目的

海外では骨折リエゾンサービスが活用されており、骨折患者の二次予防に有用であるデータが報告されています。日本においても骨粗鬆症リエゾンサービス（OLS）が発足し、各医療機関において活動が開始されています。しかし、日本のOLS活動における薬剤師介入効果を明らかにしたものは、ほとんどありません。当院のOLS活動において、薬剤師は患者データベースへの腎機能、骨粗鬆症治療薬の有無を入力します。加えて、骨粗鬆症治療薬の選択、用法・用量の妥当性検討、副作用のモニタリングなどを行います。OLS活動を通じて、薬剤師が介入することによる骨粗鬆症治療薬導入率、骨密度測定率、歯科受診率などを調査します。

3. 方法

診療録から個人を特定できない形で、年齢・性別などの基本情報、大腿骨骨折部位、入院前及び入院後骨粗鬆症治療薬の有無などを抽出します。

研究期間：倫理委員会承認後～2025 年 3 月 31 日

4. データの取り扱いと個人への利益・不利益について

使用する情報は個人を特定できない形で抽出され、対象者の個人情報が増えることはありません。研究結果は、個人が特定できない形式で論文等で発表されます。また、本研究は介入を伴わない後ろ向き観察研究のため、研究の対象となる個人の負担や利益・不利益は存在しません。

5. 問い合わせ先

本研究の対象となる方で診療情報の使用を希望されない場合、またはご不明な点がある場合は、下記までご連絡ください。診療情報の使用を拒否される場合も、患者さんに不利益が生じることはありません。

東北労災病院

所在地：981-8563 宮城県仙台市青葉区台原 4 丁目 3-21

電話：022-275-1111（代表）

研究代表者：薬剤部 齊藤 有花